

2016年2月18日

保護者のみなさまへ

園田学園中学校・高等学校
校長 石井 稔

2015年度学校教育診断保護者アンケート結果

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、保護者のみなさまにはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。先般実施いたしました「学校診断保護者アンケート」にご協力いただきましてありがとうございます。

この結果をふまえて、今後、保護者のみなさまにさらに満足していただける教育活動を教職員一丸となって展開していきますので、今後ともよろしく願い申し上げます。

1. 調査概要

- 調査目的：本校教育に関する保護者の方々の評価をふまえ、より良い教育を創造する。
- 実施日：2015年12月 ○対象：全校生の保護者 ○回収率：766名96.2%

2. 調査結果について

「A=よく当てはまる」「B=やや当てはまる」「C=あまりあてはまらない」「D=全く当てはまらない」の回答について、「A+B=肯定的回答」「C+D=否定的回答」と表現し、概ね80%以上を「多い」、概ね60%以下を「少ない」と表現しています。

(1) 肯定的な回答が多かった項目 (37項目中7項目)

- ・学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している。(80.3%) (昨年82.4%)
- ・学校は、生徒の安全指導についてしっかり取り組んでいる(81.1%) (昨年79.7%)
- ・子どもを本校に入学させてよかったと思う。(82.0%) (昨年83.2%)
- ・学校での対応や、電話で話すときの教職員の対応は適切である。(86.2%) (昨年88.4%)
- ・学校は、地震や台風などの非常時の対応に、子ども・家庭に適切に伝えている。(85.5%) (昨年86.1%)
- ・家庭で、携帯電話の取り扱いや必要性などについてきちんと話し合っている。(80.0%) (昨年83.7%)
- ・子どもは、情報モラルについて理解し、携帯電話などを正しく利用している。(81.7%) (昨年83.7%)

(2) 肯定的な回答が少なかった項目 (37項目中8項目)

- ・子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている。(58.0%) (昨年59.2%)
- ・学習内容や授業の進み具合が、子どもの話や通信などからよく知ることができる。(54.6%) (昨年56.7%)
- ・子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる(58.4%) (昨年57.2%)
- ・学校には担任の先生以外にも相談できる先生がいる(59.5%) (昨年54.9%)
- ・学校の部活動は盛んで、子どもは積極的に参加している。(59.8%) (昨年66.8%)
- ・学校のHPをよく活用している。(33.2%) (昨年35.8%)

- ・学校のHPが見やすくなった。(38.0%) (昨年40.7%)
- ・育友会活動に参加しやすい。(39.3%) (昨年 38.6%)

3. まとめと今後に向けて

全37項目中で肯定的回答の多かった項目は7項目ありますが、反面、肯定的な回答が少なかった項目が8項目もあります。全体としては、まだまだ保護者のご期待に添えきれていないと認識しております。

(1)学習面の課題克服に向けて

- ① 肯定的な回答が少なかった項目のうち「子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」が58.0% (昨年比-1.2%)、「子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる」が
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 5 | 8 | 4 | % |
|---|---|---|---|

(+1.2%)です。これらはここ数年課題として取り組んできている内容でもあり、今年度も「学びの意欲を引き出す授業づくり」をテーマとして、授業に取り組んでまいりました。生徒アンケートでは「宿題・予習・復習にしっかり取り組んでいる」に対する肯定的回答が49.7% (+0.9%)、

同じく「授業はわかりやすい」では62.4% (+1.4%)で昨年度より若干改善しています。今年度も1学期末に全教員の授業アンケートを実施し、この結果をもとに分析し、課題を明らかにして2学期3学期には研究授業に取り組んでおります。さらに引き続き、「学びの意欲を引き出す授業」に取り組み、「生徒が自主的に計画的に家庭学習に取り組む」ことができるようすすめてまいります。また、習熟度別授業も必要な教科・学年で行っており、効果的に学習をすすめることができるように引き続き取り組んでまいります。

- ② 授業改善と併せて課題となるのは「学習習慣」です。学習習慣と生活習慣は不離密接な関係にあります。「タイムマネジメント」を通して、日々のスケジュール確認とともに自己管理能力を身につけさせるように取り組んでおります。併せて、学力推移調査、学力診断テスト等で明らかになった個々の生活面、学習面の課題を自覚させ、改善させるために、担任による生徒面談の時間を増やし、学習習慣が身につくようにすすめています。また、実力テスト、模擬試験、定期考査などの後には「振り返り」をさせ、学習面での弱点を自覚し、弱点克服ができるように指導を重ねております。このような取り組みを強化することにより、学習習慣の定着を図るよういたします。

(2)生活指導面の課題克服に向けて

「学校の生活指導の方針に共感できる」については、肯定的回答が79.5%ありましたが、一方「学校はいじめや問題行動に対して適切に対応している」については、肯定的回答が61.4%、「学

校は人命や人権を尊重する意識を育てようと努力している」については肯定的回答が67.0%でした。決して「高い」数値とは言えません。いじめ問題については早期発見が重要です。教職員が個々の生徒の僅かな変化を見抜くとともに、生徒の心の内に共感しつつ、「いじめは絶対に許さない」という風土を醸成するための取り組みをさらに強化してまいります。

また、学校行事等を通じ、学級集団づくりをすすめ、全ての生徒が学級の一員として、活躍できる場がつかれるよう取り組みます。本校の建学の精神は「捨我精進（しゃがしょうじん）」、現代風に解釈すると「他者への思いやりの実践」という意味に解されます。また、校訓は「明るく 清く 正しく 強く」です。どのような場面にあっても、校訓のように前向きに取り組み、他者のことを考えられる女性に成長してほしいと願っています。

自由記述の意見欄には、学校に対する感謝や信頼のご意見も多くいただき、教職員の大きな励みとなりました。一方では厳しいご意見も多数寄せられました。こうしたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動に活かし、保護者のみなさまのご期待にお応えできるよう全教職員で不断の努力をしてまいります所存です。今後ともご理解、ご協力をお願い申し上げます。

以 上